

設計・計画部門



いとう たかひろ
伊藤 貴弘

生年月日 1983年7月岐阜県生まれ
最終学歴 2008年名古屋大学
大学院環境学研究科
都市環境学専攻修了
業務経歴 2008年株式会社竹中工務店入社
現在、名古屋支店設計部
●担当した主なプロジェクト
2011年 富源商事株式会社金沢支店
2012年 東邦ガス株式会社正門整備
2015年 ATグループ本社北館
2016年 ATグループ本社南館

■青年技術者のことば

これまでに携わった建築は事務所やショールームなど様々なタイプがあるが、設計を重ねるごとに共通してある思いが強くなった。それは引き渡した建物について「建築主が自ら語ることができる建物になっているか」という点である。その為には、建築関係者ならわかるモノではなく、日々建物をを使うユーザーがわかるモノが必要であり、それを実現する為に、プロジェクトごとにテーマとなる【素材】のあり方を建築主との対話を通じて模索している。

ATグループ本社北館(2015)・南館(2016)では、旧建物の解体前に建築主と転用できる素材を探し、新築建物への取り込み方法を議論した。南館での【再生タイル】はその集大成として、自ら原材料・商流・試作品を企画し、建築主側から廃自動車ガラスの材料支給を受けた。リサイクルガラスを用いた【再生タイル】で構成された壁面によって多くの来訪者・社員が目にするエントランスホールの空間に深みを与えることができた。建築主が来訪者へ説明されている姿をみるとその効用は大いに感じられ、今後の設計活動の中でさらに深化させたい。

■すいせん者

市川健二
株式会社竹中工務店 名古屋支店
設計部



ATグループ本社北館・南館

愛知トヨタ自動車などを統括するグループ企業本社地区の再開発計画。3 販社の自動車ショールーム約140mの木質空間が幹線道路に面することで街に新たな景色を創出しています。北館ショールームでは交差点に向かって右肩上がりうねる木造梁と屋根が、街のランドマークとして、その存在を際立たせています。南館オフィス部分には9社の本社機能が集結し、グループとしての一体感の構築とそれぞれの独自性を実現する為、エレベーターホールからエコポイドを通して各社が一望でき、視覚的な一体感を高める空間構成など新たな働き方へのプランニングを試みました。

